

ブラックスタート機能公募(2024年度向け)の意見募集でいただいた
ご意見に対する回答一覧

関西電力株式会社
送配電カンパニー

意見募集でいただいたご意見に対する回答

No.	種類	頁	該当項目	意見	回答
1	要綱	11	6.入札の条件 (2)b.(a)ブラックスタート機能の維持	<p>【問い合わせ内容】 一部系統ブラックスタート対象電源において、発電所共用設備のメンテナンスの際、一時的にブラックスタート機能が喪失することに係る取扱い(二重化が必要かなど)をご教示いただきたい。</p> <p>【理由・補足】 共用設備のメンテナンスは必ず発生するものであるため、「常時、使用可能な状態であることが必要です」との要綱上の記載文言の位置づけを事前に確認したいため</p>	<p>発電所内共通設備の補修などによる停止が必要な場合、当社の行う調整*に応じていただく前提で協議させていただくことになります。</p> <p>*作業内容、停止時期、停止期間、応急復旧時間など。</p>
2	要綱	10	6.入札の条件 (2)a.(a)ブラックスタート機能の維持、(b)定期点検、補修停止期間調整の応諾	<p>【問い合わせ内容】 停止期間に関する制限事項が明確に定められていないが、例えば大型工事などで一年の大半が停止する場合など、どの程度までの停止期間が許容されるのかご教示いただきたい</p> <p>【理由・補足】 停止期間が一定期間を上回ると入札対象外になる場合、それらを見越して、現在機能がないユニットへの追送要否を検討する際の前提として必要になるため</p>	<p>本募集における契約期間は1年であり、対象年度を通じた停止については、契約期間内に活用できないため、対象外となります。また、許容される停止期間は、他の落札したブラックスタート電源との補修調整の状況によるため、設定しておりません。なお、当社が実施する補修停止時期の調整に応じていただく前提で、補修停止いただくことは可能と考えております。</p>
3	要綱 契約書	10 3	・6.入札の条件 (2)a.(b)定期点検、補修停止期間調整の応諾 ・第7条 停止計画	<p>【問い合わせ内容】 容量市場における「計画停止調整」とブラックスタート公募契約による「補修調整」について、両制度をどのように考慮して補修計画を立てるべきか、考えをご教示いただきたい。(優先順位等)</p> <p>【理由・補足】 両者が相反した場合に、容量市場のペナルティが発生することを危惧しているため</p>	<p>容量市場とブラックスタート公募の双方で落札された場合は、双方を考慮して調整するものと考えております。</p>
4	要綱	10,11	6.入札の条件 (2)a.およびb.(c)事故復旧訓練	<p>【問い合わせ内容】 事故復旧訓練は実機稼働を伴うのか。また、訓練・試験に関わる諸費用はすべて契約者負担とあるが、kWhが発生した場合における従量料金の精算は、9章2項に基づく協議にて定めるとの理解で良いか。</p>	<p>事故復旧訓練については、実機を活用した訓練を想定しています。</p> <p>事故復旧訓練の実施により、kWh(有効電力)の発生(系統への供出)があった場合には、募集要綱9章2に基づき精算について協議させていただくことで考えております。</p>
5	要綱 契約書	14 5	・9.主な契約条件 (2)料金 ・第12条 基本料金および月間料金	<p>【問い合わせ内容】 計算式にある「送電端出力」とは、具体的に何を指すのか確認したい。(送電端定格出力を指すのか、容量市場応札上の管理容量を指すのか)</p> <p>【理由・補足】 2018/10/18第42回制度設計専門会合資料には、期待容量(設備容量に調整係数を乗じたもの)と記載されている。一方、期待容量は一般送配電事業者と発電事業者の間で決定することとされており、実質は管理容量を指していると理解している。</p> <p>容量市場での応札容量(管理容量×調整係数)を算出する際の管理容量は、設備容量より小さくなるため、仮に「送電端出力=設備容量」との解釈になると、容量市場からの収入よりも本計算式によって算出される控除額の方が大きくなり、固定費の全額回収が困難になるため。</p>	<p>第42回制度設計専門会合資料6P10の「期待容量は一般送配電事業者と発電事業者の間で決定する」の解釈について、電力・ガス取引監視等委員会にも再確認しましたが、容量市場に入札しない場合も考慮して記載されているものであり「期待容量」は「容量市場に応札できる最大容量」※となります。</p> <p>なお、「容量市場の応札容量」については、応札事業者(発電事業者)側でリスク等を考慮して判断いただくものであり、一般送配電事業者との間で決定するものではありません。</p> <p>このため、基本料金は「期待容量」を用いて算出させていただくことから、計算式の送電端出力は期待容量を算出する送電端出力となります。</p> <p>※容量市場メインオークション募集要綱(案)(対象需給年度2024年度)様式2期待容量等算出諸元一覧https://www.occto.or.jp/iken/2019/files/191120_youryou_main_bosuyoukou.pdf</p>